

エイドリアン・カニンガム先生 講演会

ICAアーカイブズ記述のための RiC (レコード・イン・コンテキスト) 概念モデル及び ISO 23081 記録管理のメタデータ標準： レコードキーピングの新しい世界

〔日 時〕 2022年11月19日(土) 14時～17時

〔開催形式〕 ハイブリッド方式 (逐次通訳付き。講演後に質疑応答あり)

〔会 場〕 学習院大学 中央教育研究棟301教室

ISO (国際標準化機構) のISO 23081 記録管理のメタデータ標準は、オーストラリアの記録管理に関する研究と実践から大きな影響を受け、「複数実体」や関係論のアプローチを提示した。一方、ICA (国際アーカイブズ会議) は2012年以降、ISAD (G) など一連の記述標準に代わるものとして「RiC (レコード・イン・コンテキスト)」という新しいモデルを開発してきた。

この講演は、記録を記述するこの2つのモデルについて基礎となる知的・概念的思考を解説し、主な共通点と相違点を探るとともに、レコードキーピングの実務に与える影響、そのさらなる発展・充実について講じるものである。

講演者 Adrian E. Cunningham (エイドリアン・カニンガム)

1981年、図書館情報学学士(オーストラリア工科大学)。1981～1988年、ニューサウスウェールズ州立図書館司書。1989～1997年、オーストラリア国立図書館のマニュスクリプトアーキビスト兼司書。1993年、歴史学修士(オーストラリア国立大学)。1998～2011年オーストラリア国立公文書館、部長。ICA (国際アーカイブズ会議) において、ISAD(G)2nd, ISAAR(CPF)2nd及びISDF策定に携わる。2010年、Emmett Leahy Award受賞。2011～2017年、クイーンズランド州立文書館デジタルアーカイブズ部長。2019年、ICAフェロー。

申込方法

下記Googleフォームより事前申し込み (オンライン・対面ともに)
<https://forms.gle/vjk5rnXZtAhywpKE9>



主催：学習院大学アーカイブズ学専攻

共催：学習院大学文学会 (開催協力)

後援：一般社団法人情報科学技術協会、日本アーカイブズ学会

問い合わせ先：学習院大学大学院アーカイブズ学専攻事務室

